

高知県感染症発生動向調査（週報）

2020年 第6週 （2月3日～2月9日）

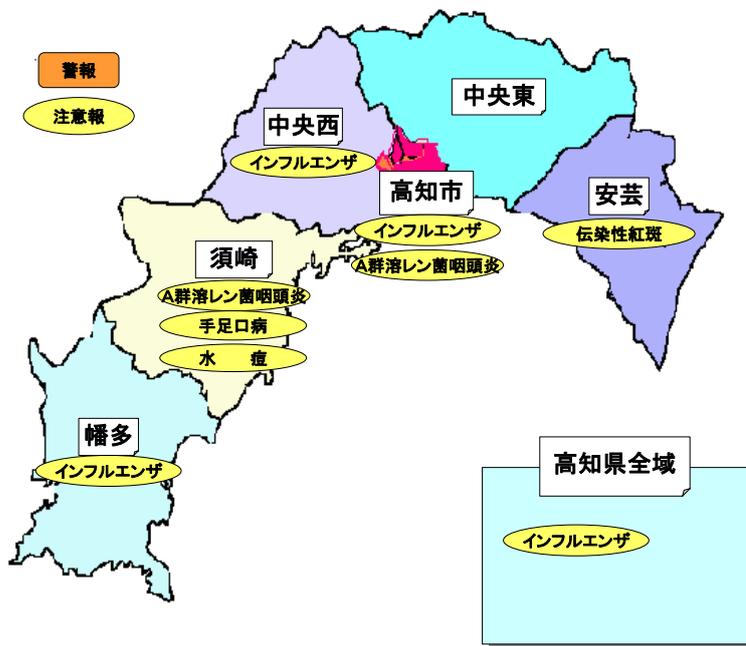
★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患5疾患）

↑ : 急増
 ↗ : 増加
 → : 横ばい
 ↘ : 減少
 ↓ : 急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
インフルエンザ	↘	10.81	幡多、須崎、安芸で急減、県全域、高知市、中央西、中央東で減少していますが、県全域、幡多、高知市、中央西では注意報値を超えています。
感染性胃腸炎	↗	4.37	幡多で急増、県全域、須崎、中央東で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	3.17	中央西で減少していますが、幡多、中央東で増加し、須崎、高知市では注意報値を超えています。
RSウイルス感染症	↗	0.77	安芸で急減していますが、須崎、幡多、中央東で急増、県全域、高知市で増加しています。
手足口病	↘	0.40	須崎で急減、県全域で減少していますが、幡多、中央東で急増し、須崎では注意報値を超えています。

★地域別感染症発生状況



【感染症予防の基本】

咳やくしゃみの飛沫による感染症はたくさんあります。電車や職場、学校など人が集まる場所では「咳エチケット」で感染対策しましょう。

咳エチケット

- (1) 普段から皆が咳エチケットを心がけるとともにくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- (2) 咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。
- (3) 手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと。



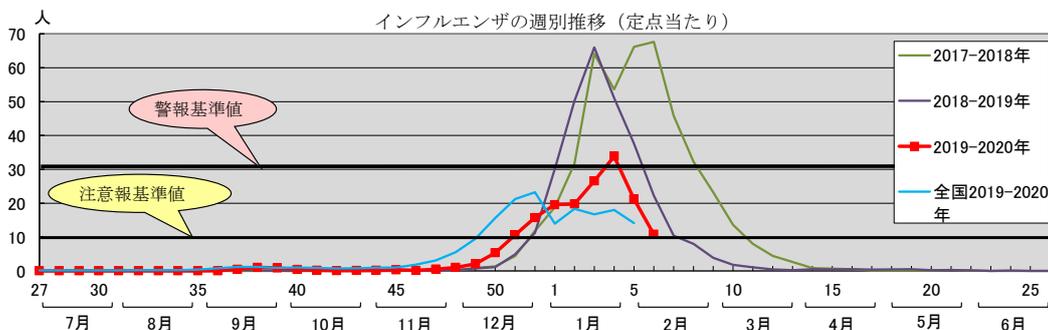
★県内で注目すべき感染症（注意点や予防方法）

○インフルエンザは県全域で注意報値を超えています

学校等における集団発生の報告では、学年閉鎖、学級閉鎖の報告が続いています。

インフルエンザ定点医療機関における迅速診断ではインフルエンザ A 型 465 件、B 型 31 件の報告があります。

インフルエンザは減少していますが、注意報値を超えている地域もあるため、外出後の手洗いを心掛けましょう。また、症状のある方は、咳エチケットで感染対策し、早めに医療機関を受診しましょう。感染力が強く、いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が拡大することから、集団生活の場では特に注意が必要です。



高知県保健所別の定点当たり報告数と警報・注意報レベル状況（2020年第6週）

	第6週		第5週		第4週		第3週		第2週		第1週		第52週	
	定当	状況												
高知県全域	10.81	○	21.23	○	33.83	△	26.58	○	19.77	○	19.56	○	15.73	○
安芸	1.50	-	4.75	-	8.50	-	8.25	-	6.75	-	10.75	○	6.50	-
中央東	9.91	-	18.64	○	37.82	△	18.91	○	16.82	○	13.91	○	11.91	○
高知市	13.06	○	21.25	○	30.69	△	26.81	○	19.56	○	27.00	○	22.63	○
中央西	11.00	○	20.00	○	34.40	△	33.00	△	27.40	○	18.60	○	14.20	○
須崎	2.75	-	19.50	○	22.00	○	20.50	○	20.75	○	14.50	○	8.75	-
幡多	16.13	○	34.63	△	52.88	△	44.88	△	25.50	○	20.00	○	16.25	○
全国			14.11	○	18.00	○	16.73	○	18.33	○	13.93	○	23.24	○

注意報値：○（10以上30未満） 警報値：△（30以上）

学校等における集団発生

保健所		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計
学級閉鎖	第6週	—	—	7	—	—	—	7
	累計	—	6	41	5	3	3	58
学年閉鎖	第6週	1	1	—	2	—	—	4
	累計	6	8	4	10	5	11	44
休校	第6週	—	—	—	—	—	—	0
	累計	—	—	—	2	2	1	5

<予防方法> 手洗いと咳エチケットを心がけましょう

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴（飛沫）による飛沫感染であることから、感染予防のため以下の咳エチケットに心がけてください。

- （1）普段から皆が咳エチケットを心がけるとともにくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- （2）咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。
- （3）手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと。

【学校感染症】

インフルエンザは学校保健安全法（同法施行規則第 19 条）では、出席停止期間の基準が「発症した後 5 日を経過し、かつ、解熱した後 2 日（幼児にあっては、3 日）を経過するまで」と規定される学校感染症（第 2 種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りでないとして規定されています。

●厚生労働省「インフルエンザ総合ページ」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infulenza/index.html

○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に気を付けて！

この病気はA群レンサ球菌による上気道感染症です。

典型的な症状は、2～5日の潜伏期を経て、突然38℃以上の発熱、咽頭発赤、莓状の舌などがみられます。1週間以内に症状は改善しますが、まれに重症化し、喉や舌、全身に発赤が広がる全身症状を呈することがあります。



<予防方法> 手洗い、咳エチケットが有効です

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」あるいは細菌が付着した手で口や鼻に触れる「接触感染」が主な感染経路になります。患者との濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットを心掛けましょう。

【学校感染症】

A群溶血性レンサ球菌感染症は学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「適正な抗菌剤治療開始後24時間を経て全身状態が良ければ登校可能」と規定される学校感染症（第3種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められたときは、この限りでないと規定されています。

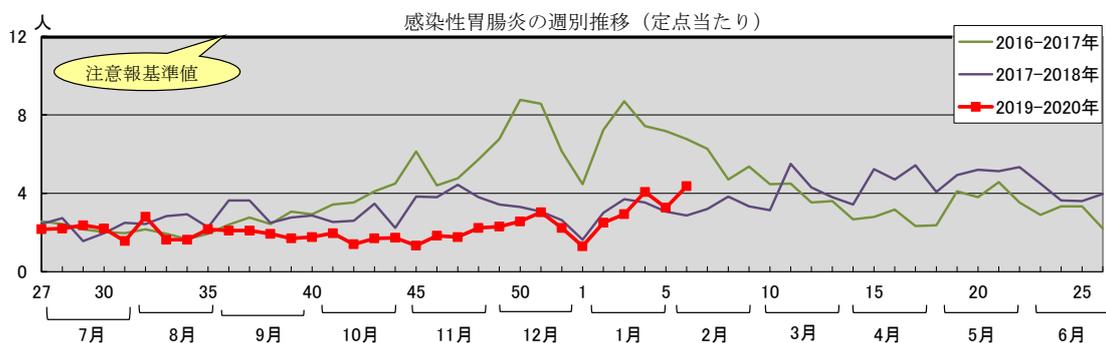
○感染性胃腸炎に気を付けて！

この病気は、ウイルス又は細菌などの病原体により嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。

潜伏期は、ノロウイルスは12～48時間程度、その他のウイルスは24～72時間程度、細菌は数時間～5日程度です。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、1年を通じて発生していますが、特に冬場に流行します。発症してから通常1週間以内に回復しますが、症状消失後も1週間程度、長い時には1ヶ月程度便中にウイルスの排出が続くことがあります。保育園や幼稚園、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあり注意が必要です。

細菌による感染性胃腸炎のほとんどの場合、患者との接触（便など）や汚染された水、食品によって経口的に感染します。



<予防方法> 手洗いが有効です

- ・帰宅時や調理・食事前、トイレの後には石けんと流水でしっかりと手を洗いましょう。
- ・ウイルスによる感染性胃腸炎では便や嘔吐物を処理する時は気を付けましょう。（ノロウイルスについてアルコール消毒は無効です）

感染した人の便やおう吐物には直接触れないようにし、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用方法を確認した

うで、キッチンペーパーなどを使用して処理しましょう。処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

- ・細菌による感染性胃腸炎の予防対策を心がけましょう。

食中毒の一般的な予防方法（【食中毒予防の三原則】食中毒菌を①付けない（洗う・分ける） ②増やさない（低温保存・早めに食べる） ③やっつける（加熱処理））です。食品の冷所保存を心がけ、長期保存は避ける、加熱は十分にするなど、日常生活での食中毒予防を心がけてください。

【学校感染症】

感染性胃腸炎（流行性嘔吐下痢症）は学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「下痢・嘔吐症状が軽快し、全身状態が改善されれば登校可能」と規定される学校感染症（第3種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるときは、この限りでないと規定されています。

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
6	川崎病疑い	39℃,咳嗽,上気道炎,肝機能,	4	女	中央東	Human herpes virus 6
6	不明発疹症	40℃,発疹,	2	女	須崎	Human herpes virus 6
6	伝染性紅斑	発疹,	1	女	須崎	Human herpes virus 6
						Human herpes virus 7
6	肺炎	40℃,咳嗽,肺炎,	8	男	高知市	Human metapneumovirus
6	インフルエンザ	39℃,咳嗽,	11	女	高知市	Influenza virus A H1pdm09
6	インフルエンザ	40℃,咳嗽,	6	男	須崎	Influenza virus A H1pdm09
6	インフルエンザ	—	51	男	須崎	Influenza virus A H1pdm09
6	インフルエンザ	39℃,上気道炎,	13	男	幡多	Influenza virus A H1pdm09
6	インフルエンザ	39℃,上気道炎,	6	女	幡多	Influenza virus A H1pdm09
6	インフルエンザ	39℃,咳嗽,	14	男	高知市	Influenza virus B/Victoria
6	インフルエンザ	39℃,下痢,咳嗽,	9	女	須崎	Influenza virus B/Victoria
6	インフルエンザ	39℃,腹痛,関節痛,	9	女	須崎	Influenza virus B/Victoria
6	インフルエンザ	39℃,咳嗽,	9	女	須崎	Influenza virus B/Victoria
6	感染性胃腸炎	37℃,下痢,嘔吐,嘔気,	1	女	須崎	Norovirus GII NT
6	感染性胃腸炎	下痢,嘔吐,嘔気,	1	男	須崎	Norovirus GII NT

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
3	インフルエンザ	37℃,咳嗽,肺炎,	67	男	安芸	Herpes simplex virus 1
4	手足口病	水疱,発疹,口内炎,	1	男	高知市	Coxsackievirus A16
4	手足口病	38℃,咳嗽,発疹,	1	男	須崎	Coxsackievirus A16
5	手足口病?	40℃,下痢,発疹,	1	男	須崎	Coxsackievirus A16
5	手足口病	発疹,	4	女	須崎	Coxsackievirus A16
5	手足口病	37℃,発疹,	3	女	須崎	Coxsackievirus A16
5	手足口病	39℃,発疹,	3	女	須崎	Coxsackievirus A16
5	手足口病	37℃,発疹,	1	女	須崎	Coxsackievirus A16
5	手足口病	発疹,	3	男	須崎	Coxsackievirus A16
5	手足口病	37℃,発疹,	3	男	須崎	Coxsackievirus A16
5	手足口病	39℃,発疹,	1	女	須崎	Coxsackievirus A16
5	感染性胃腸炎	嘔吐,嘔気,	5	女	須崎	Coxsackievirus B5
5	流行性耳下腺炎	—	4	女	須崎	Mumps virus
5	インフルエンザ	40℃,下気道炎,	5	男	幡多	Rhinovirus

<国内のインフルエンザウイルス検出状況>

国内のインフルエンザウイルス検出状況は、今シーズン直近5週（2020年第1週～第5週）では、AH1pdm09の検出割合が最も多く91%（300件）、次いでB（ビクトリア系統）が8%（26件）、AH3が1%（5件）となっています。

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2類	結 核	1	8	30歳代 女	高知市
		1		70歳代 男	
		1		60歳代 女	幡 多
5類	百日咳	1	11	5～9歳 男	高知市
		1		50歳代 男	

★定点医療機関からのホット情報

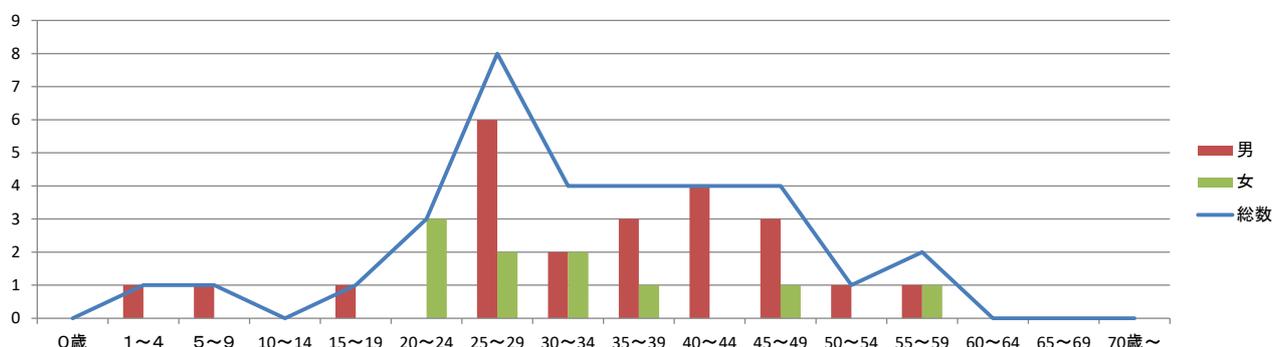
保健所	医療機関	情 報
安 芸	田野病院小児科	アデノウイルス胃腸炎 1例 (1歳男) ノロウイルス胃腸炎 1例 (1歳男) hMPV 気管支炎 2例 (2歳男女) アデノウイルス咽頭扁桃炎 3例 (1歳男 2人、6歳女)
中央東	早明浦病院小児科	インフルエンザ 7例 (A型 5人: 11歳、B型 2人: 3歳、10歳) ロタウイルス胃腸炎 1例 (10歳男) アデノウイルス胃腸炎 1例 (3ヶ月女) E.coli O86a O6 1例 (6歳男)
	野市中央病院小児科	インフルエンザ A型 3例 (11歳女、13歳女、14歳男)
高知市	高知医療センター小児科	RSウイルス感染症 1例 (2歳女) hMPV 1例 (4歳女) インフルエンザ A型 2例
	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎 1例 (10歳) シトロバクター腸炎 1例 (1歳) サルモネラ O-7 腸炎 1例 (2歳) ノロウイルス胃腸炎 2例 (0歳、3歳)
	福井小児科・内科・循環器科	インフルエンザ 19例 (A型 17人、B型 2人) インフルエンザと突発性発疹の合併 1例 (1歳男) 溶連菌感染症 7例 RSウイルス感染症 1例 (2歳女) 伝染性紅斑 3例 (2歳女、3歳男、4歳男) 手足口病 1例 (3歳男)
	細木病院小児科	ノロウイルス胃腸炎 9例 (10ヶ月男、1歳男 2人、1歳女 2人、2歳男 2人、2歳女、3歳男) ロタウイルス胃腸炎 1例 (1歳男)
中央西	石黒小児科	インフルエンザ 15例 (A型 8人、B型 7人) B型が流行しはじめた
	くぼたこどもクリニック	アデノウイルス扁桃炎 1例 (1歳女)
須 崎	もりはた小児科	インフルエンザ急減 RSV 2例 hMPV 2例 感染性胃腸炎増加 16例 (ノロウイルス陽性 6例) おたふくは管内保育所で流行中 溶連菌感染症の発生が続く
幡 多	渭南病院小児科	アデノウイルス咽頭炎 2例 (2歳男女)
	こいけクリニック	ノロウイルス胃腸炎 2例 (2歳女、5歳男) hMPV 肺炎 1例 (1歳男)
	さたけ小児科	インフルエンザ A型 42例

★県外で注目すべき感染症

○風しん、先天性風しん症候群を予防しましょう

2020年第1週～第5週の累積報告数は33人となっており、そのうち91%（30人）が成人で、25歳から50歳代の男性を中心に（男性23人、女性10人）に報告数の多い状態です。

2020年累積風しん報告数(年齢別・性別)



妊婦、特に妊娠初期の女性が風しんにかかると、生まれてくる赤ちゃんにも感染し「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがあります。

風しんの予防にはワクチンを接種し、風しんに対する免疫を獲得することが有効です。風しんに対する十分な免疫があるかどうかは、抗体検査で確認することができます。

赤ちゃんが生まれつきの病気にならないよう家族みんなで風しん抗体検査を受け、免疫がない場合は予防接種を受けることをご検討ください。

【無料の風しんの抗体検査について】

現在県内では2つの事業で「風しん」に対して十分な免疫があるかどうか確認するため無料の抗体検査を実施しています。

対象者・高知県内在住（住所を有する者）の妊娠を希望する女性

・妊娠を希望する女性または風しんの抗体価が低い妊婦の配偶者など（生活空間を同一にする頻度が高い方。婚姻の届けを出していないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある方を含む）

・風しんの追加的対策として、1972年（昭和47）年4月2日から1979年（昭和54）年4月1日生まれの男性について、一括してクーポン券を配布

1962（昭和37）年4月2日から1972（昭和47）年4月1日生まれの男性については、本人がクーポン券を希望する場合において、住所地の市町村が個別に発行

検査受付：実施医療機関ごとに異なりますので、受診を希望する医療機関に事前にお問い合わせください（住所を証明する書類（運転免許証や健康保険被保険者証等）を持参ください）

検査結果：検査後1～2週間後に郵送もしくは再来院にてお知らせいたします

厚生労働省「風しんの追加的対策について」（風しん抗体検査・風しん第5期定期接種受託医療機関）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/index_00001.html

無料の風しん抗体検査の実施及び抗体検査の委託を受けた医療機関（高知県健康対策課ホームページ）

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/fushinkensa.html>

風しんの追加的対策 Q&A（対象者向け） <https://www.mhlw.go.jp/content/000493833.pdf>

【各医療機関管理者の皆様へ】

（高知県健康対策課 平成30年8月17日付け30高健対第859号「風しんの届出数の増加に伴う注意喚起」より）

- 1) 発熱や発疹を呈する患者を診察した際は、風しんに罹っている可能性を念頭に置き、最近の海外渡航歴及び国内旅行歴を聴取し、風しんの予防接種を確認するなど風しんを意識した診察をお願いいたします。
- 2) 風しんを疑う患者を診察した際は、確定診断のためのウイルス検査を県衛生環境研究所で行いますので、直ちに最寄りの福祉保健所又は高知市保健所へ届け出るようお願いいたします。

●風しんの追加的対策関係：医療機関・健診機関向け手引き（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/000116890_00003.html

●風しん Q&A2018年1月30日改訂版(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubellaqa.html>

●風しんについて（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/

●衛研ニュース第20号（高知県衛生環境研究所）30～50歳代の男性！風しんのことを知っていますか？

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2018101000056.html>

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは2020年2月10日現在の情報により作成
しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあ
りますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。

★高知県感染症情報
疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報(59定点医療機関)

定点名	疾病名	保健所	第6週 令和2年2月3日(月)～令和2年2月9日(日)					計	前週	全国(5週)	高知県(6週末累計)		全国(5週末累計)	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎				幡多	R1/12/30～R2/2/9	R1/12/30～R2/2/2	
インフルエンザ	インフルエンザ		6	109	209	55	11	129	519 (10.81)	1,019 (21.23)	70,076 (14.11)	6,326 (131.79)	398,660 (81.28)	
小児科	咽頭結核熱			2	1				4 (0.13)	4 (0.13)	1,238 (0.39)	40 (1.33)	5,924 (1.89)	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			4	62	5	13	11	95 (3.17)	107 (3.57)	11,058 (3.49)	436 (14.53)	38,782 (12.40)	
	感染性胃腸炎		7	36	40	6	16	26	131 (4.37)	98 (3.27)	21,947 (6.92)	553 (18.43)	88,277 (28.22)	
	水痘			1	5				8 (0.27)	5 (0.17)	954 (0.30)	36 (1.20)	6,265 (2.00)	
	手足口病			1	4				12 (0.40)	18 (0.60)	514 (0.16)	65 (2.17)	2,485 (0.79)	
	伝染性紅斑		2	2	5				10 (0.33)	11 (0.37)	1,485 (0.47)	79 (2.63)	7,234 (2.31)	
	突発性発疹				4				4 (0.13)	9 (0.30)	952 (0.30)	37 (1.23)	4,189 (1.34)	
	ヘルパンギーナ								()	()	96 (0.03)	4 (0.13)	368 (0.12)	
	流行性耳下腺炎				1				4 (0.13)	4 (0.13)	147 (0.05)	14 (0.47)	750 (0.24)	
	RSウイルス感染症			1	4	15	2	1	23 (0.77)	16 (0.53)	1,123 (0.35)	70 (2.33)	4,700 (1.50)	
眼科	急性出血性結膜炎								()	()	8 (0.01)	()	28 (0.04)	
	流行性角結膜炎								()	1 (0.33)	300 (0.43)	3 (1.00)	1,492 (2.17)	
基幹	細菌性髄膜炎								()	()	8 (0.02)	1 (0.13)	37 (0.08)	
	無菌性髄膜炎								()	()	11 (0.02)	()	47 (0.10)	
	マイコプラズマ肺炎				5				5 (0.63)	1 (0.13)	146 (0.31)	16 (2.00)	742 (1.56)	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								()	()	()	()	3 (0.01)	
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)				1				1 (0.13)	()	26 (0.05)	2 (0.25)	64 (0.13)	
計		15	156	341	81	54	169	816	(20.51)	110,089	7,682	560,047		
前週		31	238	468	136	122	298		1,293					
(小児科定点当たり人数)		(10.75)	(23.21)	(32.78)	(31.99)	(41.50)	(38.83)		(30.30)		(176.24)			

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関)定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第6週					計	前週	全国(5週)	高知県(6週末累計)		全国(5週末累計)	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎				幡多	R1/12/30～R2/2/9	R1/12/30～R2/2/2	
インフルエンザ	インフルエンザ		1.50	9.91	13.06	11.00	2.75	16.13	10.81	21.23	14.11	131.79	81.28	
小児科	咽頭結核熱			0.29	0.09				0.13	0.13	0.39	1.33	1.89	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			0.57	5.64	1.67	6.50	2.20	3.17	3.57	3.49	14.53	12.40	
	感染性胃腸炎		3.50	5.14	3.64	2.00	8.00	5.20	4.37	3.27	6.92	18.43	28.22	
	水痘			0.14	0.45				0.27	0.17	0.30	1.20	2.00	
	手足口病			0.14	0.36				0.40	0.60	0.16	2.17	0.79	
	伝染性紅斑		1.00	0.29	0.45				0.33	0.37	0.47	2.63	2.31	
	突発性発疹				0.36				0.13	0.30	0.30	1.23	1.34	
	ヘルパンギーナ										0.03	0.13	0.12	
	流行性耳下腺炎				0.09				0.13	0.13	0.05	0.47	0.24	
	RSウイルス感染症			0.14	0.36	5.00	1.00	0.20	0.77	0.53	0.35	2.33	1.50	
眼科	急性出血性結膜炎										0.01		0.04	
	流行性角結膜炎									0.33	0.43	1.00	2.17	
基幹	細菌性髄膜炎										0.02	0.13	0.08	
	無菌性髄膜炎										0.02		0.10	
	マイコプラズマ肺炎				1.00				0.63	0.13	0.31	2.00	1.56	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)												0.01	
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)				0.20				0.13		0.05	0.25	0.13	
計		6.00	16.62	24.50	19.67	24.25	24.13	20.51			176.24			
前週		10.75	23.21	32.78	31.99	41.50	38.83		30.30					
(小児科定点当たり人数)		10.75	23.21	32.78	31.99	41.50	38.83		30.30					

病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点)

高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2020年 第6週)

